

5 中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔注意事項〕

- 1 答えは、全て解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の二種類がある。
- 3 マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 マーク式問題の答えは、問題で示された解答番号の欄にある数字をマークすること。例えば、解答番号1と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のようにマーク式解答用紙の解答番号1の解答欄③にマークすること。

(例)

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④

一 次の文章を読んで、あとの問1～九に答えなさい。(問1～六はマーク式問題、問七～九は記述式問題です。)なお、設問の關係で、本文の段落に [1] ～ [6] の番号を付しています。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

5 中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(尼ヶ崎 彬「ことばと身体」による。)

(注) ブラックII マックス・ブラック (一九〇九年～一九八八年)。アメリカの哲学者。

問一 傍線部 ㉗㉘㉙に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。
㉗は解答番号1、㉘は解答番号2、㉙は解答番号3、①は解答番号4、②は解答番号5の解答欄にそれぞれマークしなさい。

ジュン ㉗カク

- ① キンカン 日食を観察する。
- ② 消費者に利益をカンゲンする。
- ③ 主張がイツカンしている。
- ④ 難問にカカンに挑戦する。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

カン①リヨウ

- ① 先頭のシャリヨウに乗る。
- ② 今度はホンリヨウを發揮した。
- ③ 経営者のキリヨウに欠けている。
- ④ 多くの観客をミリヨウする演技だった。

オオザツ⑦バ

- ① ハデな柄の着物を着こなす。
- ② 南アルプスをトウハした。
- ③ 状況をハアクしている。
- ④ 口のハにのぼる。

バイ⑧カイ

- ① 幕府がガカイした。
- ② 事件にカイニユウする。
- ③ 遅刻者はカイムであった。
- ④ 三連勝のカイキョを成し遂げた。

オ⑨ヨウセイ

- ① 保安ヨウインを募集する。
- ② ヨウシヤなく時が過ぎる。
- ③ ヨクヨウをつけて話す。
- ④ ここはヨウガンでできた台地である。

問二

① a 従来の隠喩論はとありますが、この部分に対する述部として適切なものを、次の①～④の中から全て選び、その番号を答えなさい。解答番号6の解答欄にマークしなさい。(この解答欄では複数マークしてよい)。

- ① 語ろうとして
- ② 置き換えるという
- ③ 行われているのだ
- ④ 説明してきた

問三

① X に当てはまる最も適切な語句を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号7の解答欄にマークしなさい。

- ① 私に属性分析を行わせるのではない
- ② 私の態度変更をひき起こすのではない
- ③ 私に相貌の提示を要求するのではない
- ④ 私の心身態勢の喚起をさまたげるのではない

問四

① Y に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号8の解答欄にマークしなさい。

- ① むしろ
- ② たとえば
- ③ なせなら
- ④ さらば

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問五

⑥ 死んだ隠喩とありますが、この例として筆者は、「椅子の脚」という言葉を挙げています。筆者の主張を踏まえると、「隠喩」が「死」ぬとは、「椅子の脚」という言葉がどのような状態になるということですか。その説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号9の解答欄にマークしなさい。

- ① 「椅子の脚」という言葉が、「なぞり」を経ても、人によって異なった意味で理解されている状態。
 ② 「椅子の脚」という言葉が、「なぞり」を経なくても、誰からも同じ意味で理解されている状態。
 ③ 「椅子の脚」という言葉が、「なぞり」の困難さから、誰にも使用されなくなっている状態。
 ④ 「椅子の脚」という言葉が、「なぞり」を必要としない特定の人だけに理解されている状態。

問六 この文章の構成に関する説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号10の

解答欄にマークしなさい。

- ① [1]段落で隠喩のメカニズムについての見解を述べ、[2]段落以降でその見解の正しさを検証している。
 ② [2]段落では従来の隠喩論の重要性を認めながらも修正点があることを指摘し、[3]段落で修正案を示している。
 ③ [4]段落は、[3]段落で述べている内容を引き継いで新しい視点から述べ、内容を発展させている。
 ④ [6]段落は、[5]段落の内容を受けて、読み手をロゴスの構造の世界に引き戻すことが文学にも望まれると述べている。

問七

A この変容とありますが、これはどのような変容ですか。七十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問八

B 幼児の世界認識とありますが、これはどのように行われると筆者は述べていますか。筆者の主張を踏まえて、コップが横になっている状態を見た幼児が「コップがおやすみしている。」と言った場合を例として書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

5 中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問九

C 世界を新たな眼で見ることを、いや生きることと教えるのであるとありますが、ここで筆者が「世界を新たな眼で見る」と「にとどめず、「生きる」と述べ直したのはなぜだと考えられますか。その理由について、あなたの考えを、筆者(尼ヶ崎彬)の主張を踏まえ、次の【詩】の傍線部分を取り上げて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

【詩】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

Kyosai-guild

(高村 光太郎 「道程」による。)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答题紙に記入すること。)

□ 次の文章は「堤中納言物語」の一節です。中将の君は、遠方に住む女のもとからの帰途、桜の眺めが美しいあたりで、一軒の荒れた邸に興味をひかれ、そこで女童と、小柄で気品のある姫君の姿を垣間見しました。以下はそれに続く場面で、中将の君の友人である源中将と兵衛佐が中将の君のもとを訪れたところです。これを読んで、あとの問一〜八に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五〜八は記述式問題です。)

源中将、兵衛佐、小弓持たせておはしたり。「昨夜は、いづくに隠れたまへりしぞ。内裏に御遊びありて召ししかども、見つけ奉らでこそ。」とのたまへば、「ここにこそ侍りしか。A あやしかりけることかな。」などのたまふ。

花の木どもの咲きみだれたる、いと多く散るを見て、

あかで散る花見る折はひたみちに

とあれば、佐、

わが身にかつはよわりにしかな

とのたまふ。中将の君、「さらばかひなくや。」とて、

散る花を惜しみとめても君なくは誰にか見せむ宿の桜を

とのたまふ。たはぶれつつ、もろともに出づ。「かを見つるところ B たづねばや。」と思す。

夕方、^{註1}殿にまうでたまひて、暮れゆくほどの空、いたう霞みこめて、花のいとおもしろく散りみだるる夕ばえを、御簾巻き上げてながめ出でたまひつる御かたち、いはむかたなく光りみちて、花のほひも、むげにけおさるる心地ぞする。琵琶を黄鐘調にしらべて、いとどやかに、をかしく弾きたまふ御手つきなど、「限りなき女も、かくはえあらじ。」と見ゆ。このかたの人々召し出でて、さまざまうち合せつつ遊びたまふ。

^{註2}みつすゑ、「いかが女のため C 奉らざらむ。近衛の御門わたりにこそ、めでたく弾く人あれ。何事にもいとゆゑづきてぞ見ゆる。」と、^{註3}おのがどち言ふを聞きたまひて、「いづれ、この、桜多くて荒れたるやどりをばいかで見し。われに聞かせよ。」とのたまへば、「なほ、たよりありてまかりたりしになむ。」と申せば、「^{註4}さるところは見しぞ。こまかに語れ。」とのたまふ。^{註5}かの、見し童に物言ふなりけり。「故源中納言のむすめになむ。まことにをかしげにぞ侍る D なる。かの^{註6}御をぢの大将なむ、迎へて内裏に奉らむと申すなる。」と申せば、「^{註7}さらばむさきに、なほ。たばかれ。」とのたまふ。「さ思ひはんべれど、いかでか。」とて立ちぬ。

夕さり、^{註8}かの花には、物いとよく言ふものにて、ことよく語らふ。「大将殿の、^{註9}常にわづらはしく聞こえたまへば、人の御文伝ふることだに、^{註10}おほいみじくのたまふものを。」と。

同じところにて、めでたからむことなどのたまふころ、ことに責むれば、若き人の思ひやり少なきにや、「よき折あらば、今。」と言ふ。御文は、ことさらに E けしき見せじとて伝へず。

みつすゑ参りて、「言ひおもむけてはべり。今宵ぞよくはべるべき。」と申せば、喜び F たまひて、少し夜更けておはす。みつすゑが車にておはしぬ。花は、けしき見ありきて、入れたてまつりつ。火は物の後ろへ取りやりたれば、ほのかなるに、母屋にいと小さやかにてうち臥したまひつるを、かき抱きて乗せたまひて、車を急ぎてやるに、「こは何ぞ、こは何ぞ。」とて、心得ず、あさましう思さる。

中将の乳母、「聞き G たまひて、おぼ上のうしろめたがりたまひて、臥したまへるになむ。もとより小さくおはしけるを、老いたまひて、法師にさへなりたまへば、頭寒くて、御衣を引きかづきて臥したまひつるなむ、それとおほえけるも、ことわりなり。」車よするほどに、古びたる声にて、「いなや、こは誰ぞ。」とのたまふ。その後いかが。 H をこがましうこそ。御かたちは限りなかりけれど。

(「堤中納言物語」による。)

(注1) 殿 〓 ここでは中将の君の父親の邸のこと。

(注2) みつすゑ 〓 中将の君の家司。

(注3) さるところ 〓 みつすゑの話に出てきた邸のこと。「同じところ」も同じ。

(注4) かの、見し童に物言ふなりけり 〓 中将の君が垣間見した邸の女童とみつすゑが交際していることを表す。

(12枚のうち7)

受験番号	
氏名	

(答えは、全て解答题紙に記入すること。)

(注5) 御をぢの大将 Ⅱ 姫君の祖父。「大将殿」も同じ。

(注6) かの花 Ⅱ 中将の君が垣間見した邸の女童のこと。「若き人」「花」も同じ。

(注7) おほ上 Ⅱ 姫君の祖母。「おほ上」も同じ。

問一 「花」を行書で書いたものとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。

① 花 ② 花 ③ 花 ④ 𠂔

問二 ① 奉ら、 ② 奉ら、 ③ たまひ、 ④ たまひとありますが、それぞれの敬意の対象の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 中将の君 | ② 中将の君 | ③ 中将の君 | ④ おほ上 |
| ② 中将の君 | ③ 中将の君 | ④ 中将の君 | ⑤ 中将の君 |
| ③ 兵衛佐 | ④ 兵衛佐 | ⑤ 兵衛佐 | ⑥ 兵衛佐 |
| ④ 兵衛佐 | ⑤ 兵衛佐 | ⑥ 兵衛佐 | ⑦ 兵衛佐 |
| ① 中将の君 | ② 中将の君 | ③ 中将の君 | ④ おほ上 |
| ② 中将の君 | ③ 中将の君 | ④ 中将の君 | ⑤ 中将の君 |
| ③ 兵衛佐 | ④ 兵衛佐 | ⑤ 兵衛佐 | ⑥ 兵衛佐 |
| ④ 兵衛佐 | ⑤ 兵衛佐 | ⑥ 兵衛佐 | ⑦ 兵衛佐 |
| ① 中将の君 | ② 中将の君 | ③ 中将の君 | ④ おほ上 |
| ② 中将の君 | ③ 中将の君 | ④ 中将の君 | ⑤ 中将の君 |
| ③ 兵衛佐 | ④ 兵衛佐 | ⑤ 兵衛佐 | ⑥ 兵衛佐 |
| ④ 兵衛佐 | ⑤ 兵衛佐 | ⑥ 兵衛佐 | ⑦ 兵衛佐 |
| ① 中将の君 | ② 中将の君 | ③ 中将の君 | ④ おほ上 |
| ② 中将の君 | ③ 中将の君 | ④ 中将の君 | ⑤ 中将の君 |
| ③ 兵衛佐 | ④ 兵衛佐 | ⑤ 兵衛佐 | ⑥ 兵衛佐 |
| ④ 兵衛佐 | ⑤ 兵衛佐 | ⑥ 兵衛佐 | ⑦ 兵衛佐 |

問三 ア たづねばや、イ おのがどちとありますが、これらの本文における意味として最も適切なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。アは解答番号13、イは解答番号14の解答欄にそれぞれマークしなさい。

ア たづねばや

- ① 訪れるだろう ② 訪ねてほしい ③ 突き止められてしまった ④ 突き止めたい

イ おのがどち

- ① ひとびとび ② 仲間うちで ③ 自慢げに ④ 自信なげに

問四 ウ なるの文法的な意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号15の解答欄にマークしなさい。

- ① 断定 ② 存在 ③ 伝聞 ④ 存続

問五 A あやしかりけることかな、 C 常にわづらはしく聞こえたまへばの口語訳をそれぞれ書きなさい。答えは記述式解答题紙に書きなさい。

問六 B さらびらむさきに、なほとありますが、中将の君がこのように述べたのは、みつすゑからどのようなことを聞いたためですか。二十五字以内で書きなさい。答えは記述式解答题紙に書きなさい。

問七 D けしきとありますが、これは誰のどのような様子のことですか。二十字以内で書きなさい。答えは記述式解答题紙に書きなさい。

問八 E をこがましうこそとありますが、これはどのようなことに対して述べたものですか。書きなさい。答えは記述式解答题紙に書きなさい。

(12枚のうち8)

受験番号	
氏名	

(答えは、全て解答题紙に記入すること。)

三 次の文章は、「史記」の一節で、周王室の権威が衰えを見せていたころ、諸侯と覇権を争っていた楚の荘王が、次々に諸国を攻めていったときのごとが記されています。これを読んで、あとの問一〜六に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五・六は記述式問題です。)なお、設問の関係で返り点・送り仮名を一部省略しています。

是ノ歳滅レス庸ヲ。六年伐レテ宋ヲ、獲ニタリ五百乗一ヲ。八年、伐ニテ陸渾ノ戎一ヲ、遂ニ至レリ洛ニ、觀ニス兵ヲ于周ノ郊一ニ。A 周定王、使三王孫滿勞ニ楚王一。楚王問ニフ鼎ノ小大輕重一ヲ。對ヘテ曰ク、在レリ徳ニ、不レト在レラ鼎ニ。莊王曰ク、子ア無阻注四九鼎。楚國ノ折鉤之喙、イ足三以テ為ニルニ九鼎一ヲ。王孫滿曰ク、嗚呼、君王其レ忘レタル之ヲ乎。昔注六虞・夏之盛ナルヤ、遠方皆至レリ。貢ニセシメ金ヲ注九牧一ニ、鑄レテ鼎ヲ象レリ物ニ、百物ニシテ而為ニシ之ガ備一ヘテ、使三メキ民ヲシテ知ニラ注八神姦一ヲ。桀有ニリ乱徳一。鼎遷ニリヌ于殷一ニ。注九載祀六百、殷紂暴虐ニシテ、鼎Xニ于周一。B 徳之注十休明、雖レ小必重。其ノ注十一姦回昏乱、雖レ大必輕。昔成王、定ニム鼎ヲ于注十二郊廓一ニ。トレスルコト世ヲ三十、トレスルコト年ヲ七百ナリキ。天ノ所レ命ズル也。周ノ徳雖レモ衰ヘタリト、天命未レダ改マラ。C 鼎之輕重未レダレ可レカラ問フ也ト。楚王乃チ帰ル。

(「史記 楚世家第十」による。)

- (注1) 戎 || 異民族のこと。
 (注2) 洛 || 周の都。洛陽のこと。
 (注3) 王孫滿 || 周の大夫の一人。
 (注4) 九鼎 || 天子の象徴とされた鼎のこと。
 (注5) 折鉤之喙 || 武器の折れはし。
 (注6) 虞・夏 || 虞の舜帝、夏の禹王のこと。
 (注7) 九牧 || 天下を九州に分けたそれぞれの州の長官。
 (注8) 神姦 || たたりをする神や怪物。
 (注9) 載祀 || 年のこと。
 (注10) 休明 || 美しいこと。
 (注11) 姦回 || 悪賢いこと。
 (注12) 郊廓 || 周の地名。

(12枚のうち9)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答题紙に記入すること。)

問一 「ト」という漢字は、亀の甲羅を焼いたときに現れる亀裂が元になって成り立っています。漢字をその成り立ちの種類によって分類するとき、「ト」と同じ成り立ちの種類に分類される漢字として、最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号16の解答欄にマークしなさい。

- ① 鳴 ② 馬 ③ 上 ④ 河

問二 ア無阻 九鼎を、「きうていをたのむなかれ」と訓読する場合、「無」にどのような返り点を施せばよいですか。その返り点として適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号を答えなさい。解答番号17の解答欄にマークしなさい。

- ① レ ② ニ ③ 三 ④ 下

問三 イ足の本意における意味と同じ意味の「足」を含む熟語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号18の解答欄にマークしなさい。

- ① 発足 ② 土足 ③ 充足 ④ 俊足

問四 Xに当てはまる語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号19の解答欄にマークしなさい。

- ① 観 ② 貢 ③ 為 ④ 遷

問五 A周定王、使^三王孫滿勞^二楚王^一、B徳之休明、雖^レ小必重の口語訳を、それぞれ書きなさい。答えは記述式解答题紙に書きなさい。

問六 C鼎之軽重未^レ可^レカラ問^フ也^トとありますが、王孫滿がどのように述べたのはなぜですか。その理由を、それまでの楚王の言動及び、「九鼎」についての王孫滿の考えに触れて書きなさい。答えは記述式解答题紙に書きなさい。

受験番号

氏名

(答えは、全て解答题紙に記入すること。)

四 次に示す、平成二十九年三月告示の中学校学習指導要領 国語 各学年の目標及び内容 「第3学年」 目標 について、あとの問一・二に答えなさい。

(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

(2) X に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、Y、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

問一 X に当てはまる語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号20の解答欄にマークしなさい。

- ① 具体的 ② 論理的 ③ 総合的 ④ 抽象的

問二 Y に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号21の解答欄にマークしなさい。

- ① 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ
 ② 本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し
 ③ 慣用句や四字熟語などについて理解を深め
 ④ 読書を通して自己を向上させ

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【五】平成二十九年三月告示の中学校学習指導要領 国語 各学年の目標及び内容 「第3学年」 内容 B 書くこと (1) イには、「文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。」と示されています。あなたは、この指導事項に基づいた単元を設定しようとしています。次の表中の【目標】は、この指導事項に基づいて設定した「思考力、判断力、表現力等」の目標、【言語活動】は、【目標】を実現するための言語活動、【評価規準】は、この単元において設定した「思考・判断・表現」の観点に関する評価規準です。また、【ポイント】は、批評文を書かせる際の指導のポイントとして設定した事項、【単元の流れ】は、この単元の流れを示したものです。これらについて、あとの「問い」に答えなさい。

【目標】	多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。
【言語活動】	ポスターの批評文を書く。
【評価規準】	「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。
【ポイント】	<p>○ ポスターのキャッチコピー、図、レイアウトに着目して特徴を捉え、その特徴がポスターを見る人に与える効果や、そのように制作した作り手の意図を分析するよう指導する。</p> <p>○ 批評文を書く際は、読み手を説得できるように、自分の考えの根拠を具体的に挙げるとともに、自分の考えとその根拠をどのような順序で示していくか、論の進め方を考えるよう指導する。</p>
【単元の流れ】	<p>【一次】教科書を用いて、ポスターの分析方法や批評文の文章構成の工夫について学ぶ。</p> <p>【二次】【一次】での学習を生かして、ポスターの批評文を書く。</p> <p>【三次】お互いが書いた批評文を共有し、読み手からの助言などを踏まえ、自分の批評文の良い点や改善点を見いだして修正する。</p>

【問い】あなたは、【単元の流れ】に示す【二次・三次】において、「ポスターの批評文を書いて共有する」ということを学習課題として設定して、【ポイント】を踏まえた指導をしようとしています。次の【ポスター】は、その学習課題において提示されたポスターです。このポスターについて生徒が書く批評文として、「おおむね満足できる」状況(B)と判断できる批評文を【ポイント】に照らして具体的に想定し、書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

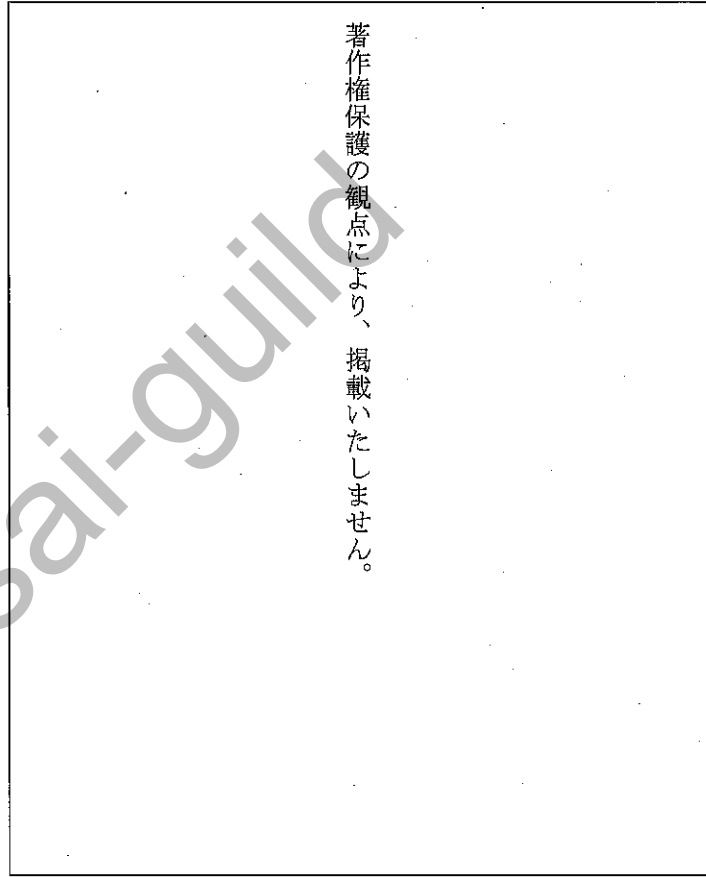
5 中学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち12)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【ポスター】



著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(読書推進運動協議会ウェブページにより作成。)

⑤

中学校 国語科 マーク式解答用紙

氏 名

受験番号					
0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

一	解答番号	解答欄
	1	① ② ③ ④
	2	① ② ③ ④
	3	① ② ③ ④
	4	① ② ③ ④
	5	① ② ③ ④
	6	① ② ③ ④
	7	① ② ③ ④
	8	① ② ③ ④
	9	① ② ③ ④
	10	① ② ③ ④

二	解答番号	解答欄
	11	① ② ③ ④
	12	① ② ③ ④
	13	① ② ③ ④
	14	① ② ③ ④
	15	① ② ③ ④

三	解答番号	解答欄
	16	① ② ③ ④
	17	① ② ③ ④
	18	① ② ③ ④
	19	① ② ③ ④

四	解答番号	解答欄
	20	① ② ③ ④
	21	① ② ③ ④

〔記入上の注意〕

- 1 余白には何も記入しないでください。
- 2 HBまたはBの鉛筆で該当する ○ にマークしてください。
 マーク例 <良い例> ●
 <悪い例> ⊗ ⊘ ⊙
- 3 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- 4 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する ○ にマークしてください。



5

中学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	二										解答欄
	問八		問七				問六		問五		
								C	A		

問題番号	三				解答欄
	問六		問五		
		B	A		

四は、マーク式解答用紙に記入すること。

5

中学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号

解答欄

五

kyosai-guild

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

中学校国語科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
問一	㉞ 1		各 2 × 5
	㉟ 4		
	㊱ 3		
	㊲ 2		
	㊳ 1		
問二	1, 4	全部合っているものだけを正答とする。	3
問三	2		4
問四	1		3
問五	2		4
問六	3		6
問七	<p>隠喩を理解する過程において、話し手が隠喩として示した事物に対する心身態勢に沿って喚起された身構えで、隠喩の対象を見るようになるという変容。(69字)</p>	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
問八	<p>コップが横になっているのを見た幼児が、自分の現在の経験と同じ型の経験を過去に探し、横たわって寝ている人を過去に「おやすみしている。」という言葉で表した経験と似ていると自覚し、その経験になぞらえて、「コップがおやすみしている。」と捉えている。</p>	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	14
問九	<p>「冬は僕の餌食だ」という隠喩を含んだ表現は、冬を餌食にたとえることにより、餌食という野生動物に餌として食われるものというイメージを読み手に想起させ、それを冬に重ねることで、寒い季節という冬のロゴス的な意味とは別の意味の見方を抱かせている。このことは、単に冬に対する新たな見方を読み手に提示するだけでなく、それを受け取った読み手の感性の幅を広げることにもつながっている。</p> <p>このように、優れた詩は、レトリックを駆使することによって、作者の身体的認識をなぞり、読み手の身体を場としてからだで納得させるといふ原初の意味生成の場に読み手を連れ戻し、読み手に新たなものの見方を与えてくれるだけでなく、読み手の世界認識の幅を広げてくれる。世界認識の幅の広がり、読み手の感性の幅を広げ、心豊かに生きることをもたらしてくれるということを強調しようとして、筆者は「生きること」と述べ直したのだと考えられる。</p>	問いを正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	16

70

中学校国語科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
三	問一 2		2	
	問二 1		3	
	問三	ア 4		各 3 × 2
		イ 2		
	問四 3		3	
	問五	A おかしなことだなあ	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
		C いつもうるさく申し上げなさいるので		
	問六	姫君の祖父が、姫君を入内させようとしていること。(24字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
問七	中将の君の、姫君に懸想している様子。(18字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	
問八	中将の君が、姫君の祖母を姫君と間違えて自分の邸に連れ帰ってしまったこと。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	
三	問一 2		2	
	問二 1		4	
	問三 3		2	
	問四 4		4	
	問五	A 周の定王は、王孫滿に楚王を労わせた	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
		B 徳の美しいときは、鼎は小さくても必ず重いものである		
問六	楚王が、周の九鼎の大きさや重さを尋ね、楚にも九鼎を造るぐらいの力があることを示し、周を威圧してきたことに対して、王孫滿は、九鼎を持てるのは徳のある君主だけであり、九鼎はまだ周にあるという天命も改まっていないとして、楚王が周王を脅かそうとすることを断念させようとしたから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10	
四	問一 2		4	
	問二 4		4	

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
<p>五</p>	<p>このポスターは、見る人に、読書の楽しさを思い起こさせ、本を読んでもみようと思わせる作品である。</p> <p>ポスターの右上には、読書週間の文字とそれが実施された年月日が記されており、右端には、「本と旅する 本を旅する」と対句を用いたキャッチコピーが配置されている。このキャッチコピーには、本を持って旅をしよう、本の世界を旅しよう、見る人に誘い掛ける働きがある。物語を知る人が舞台となった地を訪れた時には、物語の内容と重ね合わせて、単なる観光とは異なる感動を得ることもあるだろう。また、物語を読むことで、登場人物の成長を間接的に経験し、生きるヒントを得ることもあるだろう。このキャッチコピーには、「旅」のもつ未知のものに出会う期待感や人生のイメージと重ねて、読書の楽しさを思い起こさせる働きがある。</p> <p>また、ポスターの上部には本を持った魚の群れ、中央部には翼が本になっている飛行機、その下には、渡り鳥の群れやムササビが空を飛び、それらに乗って本を読む少年少女と、眼下に広がる風景が描かれている。これらの人物は、「本と旅」をし「本を旅」をしている。この絵とキャッチコピーの組合せによって、本を読むことの楽しさを強調したいという作り手の意図が感じられる。さらに、描かれた絵に似た場面をもつ物語を想起させる。もし、このポスターを複数の人で見たならば、どの物語をモチーフにしたのかを話し合ったり、その物語の感想を交流したりすることもあるだろう。その物語を再び読みたいと思うかもしれない。読書の楽しさには、他者との交流や再読によって、新たな見方や考え方を得られることもある。この絵には、キャッチコピーには表されていない読書の楽しさを思い起こさせる働きがある。</p> <p>「読書は人生を豊かにする」と言われる。これは、読書によって得られた知識や生きるヒント、ものの見方や考え方の広がりなどの蓄積が、自分の人生をも豊かにする力があるということを表しているのだと思う。そう考えたとき、このポスターには、本とともに人生を歩んでほしいという作り手の願いも込められているのだと思う。</p> <p>このポスターは、キャッチコピーと絵との組合せによって、読書の楽しさを見る人に思い起こさせ、読書の価値について考えさせる。そして、読書週間中に本を読もうという気持ちにさせる。このポスターは、見る人にそう思わせるメッセージが込められた作品である。</p>	<p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	<p>50</p>